

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

山形県 戸沢村

# とざわむら 議会だより



2018 No. 126

2017年12月定例会

**2p** 12月定例会 **補正予算3,200万円を可決**

**2p・3p 議会日誌** 総務文教常任委員研修 産業建設常任委員研修

**4p~9p 一般質問** 村の定住対策の取り組みは 6議員登壇

**10p~11p 戸沢中3年生 村への提言!** 38名の研究の成果

**12p 議会提言書を提出** 編集後記









# 一般質問

## 保・小・中 一貫教育の推進は！



加藤 文明 議員

**問** 保・小・中一貫教育で「未来を創る共育の推進」とはどのような連携教育を目指すのか伺いたい。

**村長** 保育所年長児から中学校3年生までの10年間を見据え、年長児から小学校1年生までの入門期、小2から小5までの基礎充実期、小6から中1の発展期、中2から中3の完成期と4つの時期に区切り、それぞれの時期の課題をクリアしながら学びの連続性を重視した教育を進めていきます。一貫教育の構想では、小学校と中学校の切れ目のない連携に加え、保育所と小学校も切れ目のない連携を行い「小1プロブレム」といわれる問題の解消を図っていきます。

現在、特別支援の観点から、4歳児から中学校3年生まで、山形大学教授の訪問観察指導を受けており、一貫した体制のもと取り組みを進めております。将来的には、保育と幼稚園機能を有する「認定こども園」に改組する構想を抱いております。

※小1プロブレム  
小学校第1学年の児童が幼児教育から小学校教育へ指導が一変する段差を乗り越えられず、集団生活に適應できないで起こす問題行動を指して言う。



古口保育所

### 担当課との連携は

**問** 連携共育を目指すとき、担当課の連携をどのように構築するのか。また、担当課の変更も考えているのか伺いたい。

**村長** 認定こども園に改組した場合、共育課が担当することが健康福祉課と話し合われているところです。

実現のためには、幼稚園教育のカリキュラム、



4月の開園を待つ新戸沢保育所

**問** 保育所の職員体制はどのようになるのか伺いたい。

**村長** 平成30年度から0歳児保育も実施します。正職員8名、臨時職員10名の18名で保育を行う予定です。調理員は正職員2名、臨時職員3名の5名により給食の提供を行

### 保育所の職員体制は

つていきます。また、アレルギー体質の園児には、調理室内に別の調理スペースを設置しており万全を期して対応しています。保護者の皆様には安全かつ安心して子どもを預けられる体制を維持してまいります。

## これからの村の 農業振興策は！

# 一般質問



小野 宏 議員

**問** 30年産から、減反廃止になり、今後、村として農業の振興と強化をどのように図るのか。

**村長** 県において、需要に応じたコメ生産を推進するため「生産の目安」を算定し、地域農業再生協議会を通して生産者に提示していきます。

今後、需要に応じた生産が重要となりますので、平成30年度より、畜産クラスター事業を実施することにより、豚肉の販売、加工品の開発、飼料用米の導入や堆肥を利用した米の特別栽培、新規園芸作物など地域農業の振興と活性化を図っていきます。

**問** 養豚事業の開始により、完熟堆肥が無償で供給されるようですが、有効に活用するため、各地



養豚場敷地内の直売所(宮城県内)

効に活用するため、各地区に実証圃を設け、データの実績を行い農家に周知してはどうか。

**村長** 畑地化に向けての完熟堆肥の成分分析は完了しています。今後は、主食用米、飼料用米、特別栽培米として有効活用を図るために、平成30年度に農業振興協議会で、北部、中部、南部の3地区に実証圃を設け進めていきたい。

**問** 休耕田、遊休地を無くすためにも作付けを再開させ、農業収入の向上と財政確保を図るべきと考えますが村長の考えは。

今後、村として継続した支援をするために、水田畑地化や基盤整備事業を行っていきます。

米の直接交付金10a当たり7,500円が廃止されますが、主食用米の受給見通しが年々厳しい状況下であり、需要に応じた米生産への対応が必要で、国県等の支援制度を活用し、米生産を基本に据え、地域条件を最大限に活かす適地適作による水田フル活用を推進するために、農業団体、行政が一体となる取り組みを行っていきます。

### 農災法 収入保険の手続きは

**問** 収入保険の加入対象と受付期間、また、周知をどのように行うのか。

**村長** 加入申請手続きは、農業共済組合が窓口になります。青色申告をしていない農業者の個人、法人が対象となります。申請

手続きは、30年10月から、法人は事業年度の3か月前の加入手続きです。村としても、2月中旬から経営所得安定対策の集落座談会を開催しますので、合わせて説明を行い周知を図っていきます。



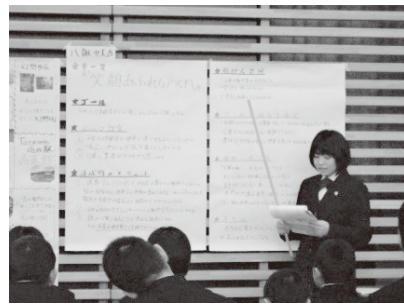
増水による災害



# 戸沢中3年生 村への提言!

去る12月26日に、戸沢中学校3年生38人による、「村への提言」の会が開催されました。小学校から合わせて9年間、地域の人々から学ぶ地域学習を続けてきた大成として学んできたことをもとに、生徒達が、自分の生まれ育った戸沢村がどのような村になつてほしいのか、どのように活性化していったらいいのか、一人一人が調査研究した成果を具体的なゴールを思い描きながら発表しました。この会は今年で4回目の会になります。

生徒達はコンピュータを駆使し、自分の思い描く戸沢村を数枚の大判用紙にまとめ、村議会議員と渡部村長、各課長、教育委員他多数の来賓が見守る中、堂々と発表していました。その姿は大変頼もしく感じられ、将来の戸沢村を背負って行ってくれるだろうと安心しました。発表のテーマは以下のように、自分の足下を見つめ、将来への夢を語るものが多く、聞き応えがありました。一例を紹介します。



〈荒川 龍さん〉  
「戸沢村の知名度を上げ、村にもっと若者を！」

若者を村に呼び込むために、若者に人気のあるもので戸沢村をアピールできないかと考えた。具体的な案としては、「世界的人気ゲームとコラボする」というもので、ゲームのキャラクターと幻想の森とのコラボによるご当地キャラクターづくりや、幻想の森を舞台に、ゲーム音楽を演奏する「幻想の森音楽祭」を開催し、SNS等を活用し集客することで、村を活性化していくことができるのではないかと。

〈木村 慧真さん〉  
「観光客や転入者を増やし、活気あふれる戸沢村に！」

四季別の観光コースをつくり、戸沢村ならではの魅力を発信していくことで、村の活性化を図り、他県からの注目度も高めていきたいと考えた。戸沢中生を対象にしたアンケートの結果をもとにした1泊2日の村の魅力満喫プランや廃校を利用したホームステイ体験を大々的にPRし、観光目的だけではなく、村民となつてもらえるような働きかけを積極的に行ってみたい。

〈柿崎 怜さん〉  
「廃校を有効活用し、本格的な映画を楽しめる村に！」

最上地区に映画館がないことに着目し、廃校を使った映画上映プロジェクトを考案。費用面にも配慮し、ネットサービスを利用した、初期費用のかからない上映方法で運営することにより、実現する可能性を高めた。野外上映を立ち上げたり、村内の様々なイベントとの合同企画を行ったりすることで、この村にしかない楽しさや魅力を発信していったらどうか。

紙面の関係で全部を紹介できないのが残念ですが、来年も開催を予定しておりますので、是非参加してみてください。

No.	氏名	課題	ゴール
1	秋保 太陽	スポーツがさかんな戸沢村。	戸沢村野球場をより利用しやすくする。
2	安食 優羽	野生動物が安全に暮らせる自然豊かな戸沢村。	野生動物が安全に暮らせる自然豊かな戸沢村。
3	安食裕一郎	交流を通し発展する戸沢村。	観光と映画による交流の企画。
4	荒川 周人	野生動物が安全安心な戸沢村。	道路脇に植物を植え、道路に動物が近づかなくなる。
5	荒川 譲	観光スポットを活かし、観光客を増やそう。	観光スポットへの道を整備したり、魅力を伝え観光客を増やす。
6	荒川 龍	戸沢村の知名度を上げる。	若者を狙った場所・企画をつくる。
7	荒木くるみ	子どもが活発な戸沢村。	各地区に設置されている公園を整備し、楽しく運動出来る環境を作る。
8	市川 愛美	地域の人々との関わりを増やし、自然とふれあう戸沢村。	子どもから大人がともにボランティア活動を行い、自然と人々の関わりを築く。
9	伊藤 帆南	安心して運動ができる戸沢村。	多目的運動場を今よりも使いやすくする。
10	大山 心音	戸沢村の魅力をたくさんの人に知ってもらう。	戸沢村の観光地をポスターにして戸沢村の魅力を県内外に広めていく。
11	柿崎 怜	戸沢村を目的に来る人を増やす。	廃校を利用して映画を上映する。
12	加藤 瑞穂	観光客がたくさん訪れ、魅力あふれる戸沢村。	今ある自然を守り、緑豊かな観光地にする。
13	木村 慧真	観光客、転入者を増やし、活気あふれる戸沢村。	四季の観光コースをつくり、戸沢村の魅力を発信していく。
14	蔵津 涼	戸沢村の安全を守る。	街路灯を設置し、歩道を整えて村民の安全を守る。
15	小玉 修大	小中一貫教育校にふさわしく、さらに過ごしやすい学校。	3年間すごして不便なところを直す。
16	齊藤 天人	戸沢村の観光地や観光スポットをもっと広げる。	広めるために、観光地や、観光スポットのPR動画を作成。
17	齋藤 辰弥	冬の自然が際立つ戸沢村。	雪国の良さを世界に発信し、イベントを活性化させ、地域振興を図る。
18	齋藤 将	のびのびと運動できる施設を作る。	運動施設を補修・整備する。
19	斉藤 美羽	地域の人との関わりがある、色とりどりの戸沢村。	戸沢村で話し声が聞こえて、戸沢村全体が花で作られたアートになる。

No.	氏名	課題	ゴール
20	佐藤 将	気軽に運動出来る場所を増やす。	戸沢村にアスレチックを設置する。
21	佐藤 美鈴	廃校になった旧神田小学校の活用方法を考える。	旧神田小学校を開放し、交流施設にする。
22	清水 駆流	人口を増やし、活気のある戸沢村。	スーパーマーケットを作り、その中で年中行えるイベントを作ることで、住んでくれる人口を増やす。
23	須藤希津功	運動する機会を増やし、体力向上を目指す戸沢村。	運動するイベントを増やし、運動に親しみを持ってもらう。
24	土田 莉乃	人と動物がふれあう戸沢村。	空き校舎とグラウンドを再利用し、人と動物がふれあえる施設やドッグランをつくる。
25	二戸部 陸	運動が活発な戸沢村。	廃校を利用して、村をアピールする施設を作る。利用し、施設を充実させる。
26	バゴト アキジュハイラ	戸沢村の美しい川と緑を観光客に知ってもらう。	多国語のガイドブックを作って美しい川と緑の戸沢村を多くの人たちに観光してもらう。
27	早坂 拓輝	渓流で活気あふれる戸沢村。	山女魚や岩魚を各川の上流で放流する。
28	星川陽菜乃	戸沢村村民が自ら行動するボランティアによって、きれいで豊かな自然維持を。	ボランティア活動を盛んにして実行する。
29	皆川 雅香	知名度を上げ、活性化を図る戸沢村。	戸沢村の伝統文化などを活用し、チラシやガイドブックを作り、観光客を増やす。
30	矢口 心夏	豊かな自然を生かし、観光客でにぎわう戸沢村。	戸沢村ガイドブックを作成し、各観光スポットの知名度を上げ、観光客を増やす。
31	矢口 輝	人でにぎわう戸沢村。	廃校を利用したり、イベントをして観光客をたくさんよび、戸沢村をにぎわうようにする。
32	矢口 雅	戸沢村の豊かな自然を守る。	どんどん減っていく、森を守る。
33	八鍬亜美香	笑顔あふれる戸沢村。	子どもから高齢者までが楽しめるような公園を作る。
34	八鍬 天音	自然豊かな戸沢村。	自然を楽しむ写真撮影会の企画。
35	山崎 瑞帆	廃校を利用する。	廃校を利用して、村をアピールする施設を作る。
36	山崎 悠馬	戸沢村の自然で活気ある村にする。	自然に興味を持ってもらう。
37	横山 まや	若者の人口を増やし、活発な戸沢村にする。	若者の人たちが積極的にボランティアに参加し戸沢村の良いところを広げる。
38	横山 廉斗	サクラマスの遡上が多くなる川にむけて。	川をきれいにし、サクラマスの遡上しやすい川を作る。



# 議会提言書を提出

平成30年度の予算編成期にあたり、地方創生調査研究特別委員会、並びに議員全員協議会において意見をまとめ、平成29年12月25日に村長に対して提言書を提出しました。2月28日を回答期限として提言書の内容は次のとおりです。

## 1、企業誘致と地元企業支援強化による雇用促進

安心して生活できる村づくりの必須条件として、本村独自の企業誘致、並びに広域連携による企業誘致の積極的な展開と地

元企業に対する支援策の更なる強化。

## 2、農業振興施策

① ライスセンターの活用を図るため、需要拡大が期待される飼料用米の受け入れ施設として早急に整備を図る。  
② 水稲依存の高い農業経営から高収益作物を中心とした営農体系への転換の推進。

## 3、人口減少対策

① 出生祝い金の増額や子育て支援住宅などインパクトのある支援策の検討。

② 空き家バンクの設置や収入に関係なく入居可能な住宅整備と宅地供給施策との検討。  
③ 婚活対策は、最上地域全体で実施しているが、村独自の婚活支援の強力な推進。



## 議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

**3月7日(水)から13日(火)**

本会議は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局72-2113にお問い合わせください。

## 表紙の言葉

戸沢小学校6年生28名の皆さんが、12月6日に戸沢村議会12月定例会の傍聴に来てくれました。表紙は、議場での記念写真です。これを機会に、戸沢村の将来について考える一助となればと思います。

## 編集後記

議会だより愛読者の皆さん、本年もよろしくお願ひ致します。年が明けても近隣諸国が相変わらず騒々しく心配が絶えないところでは。

今冬は、近年にないドカ雪になったり、冬には珍しい大雨が降ったり、気温の変化が激しいようですので、体調管理には充分注意しましょう。

私たち広報委員は、皆さんから負託された要望や議会活動の報告等を読みやすい編集をして行きますので、引き続きご愛読をお願いいたします。

広報常任委員会  
副委員長 田中 奨